

人のうごき (53.10.1現在)

男	15,447人
女	16,205人
計	31,652人
世帯数	7,740

(住民基本台帳登録人口)

かがやき



秋季消防演習式典会場での防火査察車贈呈式—野向小グラウンドで

勝山ライオンズクラブ 防火査察車と小型ポンプ寄贈

結成10周年記念事業として 少年少女スラローム大会用旗門一式も

結成10周年を迎えた勝山ライオンズクラブ(中西東洋会長、三十八人)は十周年記念事業の一つとして、市消防署(松村定雄署長)へ防火巡回査察車ライオンズ号と山林火災用小型ポンプ一台を贈りました。

同クラブは結成以来、地域社会への奉仕をモットーに活動を続けてきましたが、十周年を機に市民の生命財産を守るための予防活動に役立ててもらおうと防火巡回査察車を贈ることになった。贈呈式は秋季消防演習が行われた十月十三日、野向小学校グラウンドでの式典の席上、中西勝山ライオンズクラブ会長から、池田市長に目録とキーが贈られました。



この査察車は、ジーブ型小型車で、両方のドアにはライオンズのマークとライオンズ号と書かれています。ジーブは四輪駆動なので雪の多い勝山にとっては大変力強く、また小型なので細い道でも通れます。同クラブが結成五周年を記念して寄贈した査察車はこの五年間に走行距離六万五千。なんと地球を一回半したことになります。

同車の予防活動によって、火災発生も半減し、いかに市民の生命財産を守ってきたかがわかります。一方、山林火災用小型ポンプも、山林の多い市にとって大きな消防戦力となり、普通のポンプを搬送することのできないところでも運ぶことができ

友愛を深め社会に奉仕しよう 勝山ライオンズ結成10周年記念式典

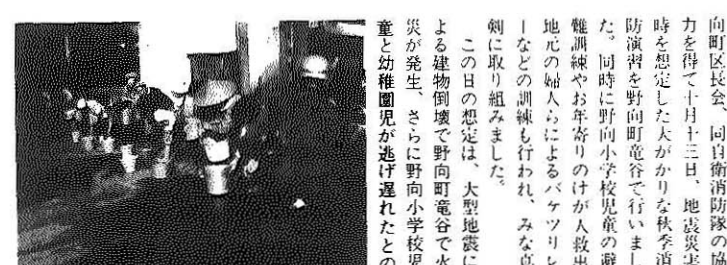
勝山ライオンズクラブ(中西東洋会長、三十八人)は十月十四日午後一時から教育福祉会館で結成十周年記念式典を挙行了しました。

この日県内外のライオンズクラブからも大勢参加、勝山ライオンズクラブ会長夫妻も合わせて百三十人が出席しました。

市長の歓迎のあいさつ、参加者の紹介のあと、中西会長が「友愛を深め社会に奉仕しよう」とあいさつ。引き続き祝辞が贈られました。十周年記念事業が発表され、それぞれ目録が手渡されました。謝辞は池田市長が代表して述べました。

記念事業は次のとおりです。
▽防火巡回査察車一台、▽山林火災用可搬式小型ポンプ一台。
▽少年少女スラローム大会用旗門一式、▽野外美術学校へ百号カンバスと材料一式、七組、前竹人形。

式典終了後、会場を市民会館に移し、記念祝賀パーティーを開き結成十周年を祝いました。(写真は記念式典)



市消防本部と市消防団は、野向町区長会、同自治消防隊の協力を得て十月十三日、地震災害時を想定した大がかりな秋季消防演習を野向町竜谷で行いました。同時に野向小学校児童の避難訓練やお年寄りのけが人救出などの訓練も行われ、みな真剣に取り組まれました。

この日の想定は、大型地震による建物倒壊で野向町竜谷で火災が発生、さらに野向小学校児童と幼稚園児が逃げ遅れたと仮定。

また地元婦人会員らはバケツリレーで本番さながらの訓練に取り組んでいました。さらに野

向小グラウンドでは主婦を対象にフライパン火災の消火法、消火器の使い方や毛布、座ぶとんを利用した消火方法を勉強しました。一方消防団は一斉放水のあと、別列行進、式典があり、勝山ライオンズクラブから防火巡回査察車の贈呈式が行われました。なお、式典の前に市消防ポンプ操法大会に出場し二位という立派な成績をあげた第九分団(大型)と第三分団(小型)のポンプ操法が披露され、消防団員や地元住民の拍手を受けました。(写真①バケツリレーに真剣に取り組む婦人会員、②秋空に見事な一斉放水、③これも野向町竜谷で)

山火災等に威力を発揮しています。今回寄贈されたポンプと合わせて二百となり消防力が強化されました。査察車と小型ポンプとで約百万円。ありがとうございました。

大会には市内の若いお母さんら約二百人が参加。福井赤十字病院看護学校教諭、河村康男先生の「幼児の心理とつけ方」という講演の後、母子保健推進員の伊藤幸子さん、旭町一丁目五人が育児についての体験を発表しました。

続いて玩具研究家の岡崎良夫さんから、おもちゃの遊び方について、幼児には適切なおもちゃを与えることが大切、という話を聞きました。会場には、育児に関する数多くのパネルが展示されたのははじめ、市内の健

健康そのものの赤ちゃんの写真も飾られました。また、お母さんたちに真剣に勉強してもらうため、仁愛短大一回生の加藤由美子さん(ごめん)が、一日保育園として、みんなを遊ばせよう「コナー」を開設し、お母さん方に大変喜ばれました。

勝山保健所では、精神衛生講演会および精神衛生相談を次のとおり開催します。多数参加ください。

▽日時 十一月十六日(木) 午後一時から四時
▽場所 勝山保健所講堂
▽担当医 福井三精病院院長 堀江達雄先生

バケツリレーに汗 竜谷で秋季消防演習

通報があり、救助しようというもので、午前七時五十分、野向公民館屋上のサイレン吹鳴を合図に市消防員三十人、消防団員二百七十人、地元自衛消防隊婦人会員、区民ら百二十人が出動し、山火事を消す者、児童、園児の救出を行う者、独り暮らしのお年寄りを救出する者などそれぞれの役割に応じて演習しました。

また地元婦人会員らはバケツリレーで本番さながらの訓練に取り組んでいました。さらに野

九月定例会

一 概 貫 同

貯水池の補修などに助成を

山内富栄議員 ①今年も晴天が続く、農作物に干ばつの被害が出た。特に平泉寺地区では水枯れがひどく貯水池は干し上がり一部では給水車まで繰り出して対処した。貯水池の拡張や補修にどうするかを考えている。

市長 ①平泉寺地区の異状状態による被害が出ているのは承知している。貯水池の問題については地元の要望について相談しながら補助制度を考えていく。

山内富栄議員 ②南部土地改良事業について、既に西部、中部北部という順序に開発されてきたが、総合開発という名のもとに事務的な準備が進められているが果してうまくいくのか、早くできるのか。また、事務がスムーズに進んでいないように思うがこの際職員を増員して対処してはどうか。

市長 ②土地改良については、既に八〇%の耕地が改良され、残っている地区は平泉寺地区と北谷地区で、特に平泉寺地区については今、県とミニ総合パイロット事業の適用を受けるよう努力している。総事業費約二十億円をかけ県営で行うよう県を通じて農林省の方と交渉している。特にミニ総合開発事業は補助率が高いので、できるだけ早い機会に事業に着手したいと考えている。担当課の増員については課内で融通し合ったり、臨時職員を雇うという方法で対処したい。

山内富栄議員 ③この春、上野地区に開設された丸頭電ワークショップへの取付道路が狭く、路面も悪い。同ショップの職員

らも大変困っている。一日も早く改修する必要がある。どのような計画か。

市長 ③この道路は岩ヶ野の入口から丸頭電ワークショップまで延長二・六キロあり、市が単独で改修するとすると相当多額の経費が必要なので、国の補助を受けて早い機会にやりたいと考えている。本年度は少しだが予算計上した。来年度からはできるだけ多くの予算を要求して早期改修を図っていくよう努めたい。

下水道工事で市民に迷惑をかけないように

大平議員 ①下水道事業は着手してから三年度に入っており、工事が市街地帯に伸びてきた。そのため早期に障害が生じてくると思う。市民に対して障害があるという事態を未然に防ぐために、説明理解などを行う。PR、説明理解などを行う。協力を求めているのか。また、計画の推移と促進であるが商店街の密集地帯における工事にはいろいろな問題が出てくるのではないかと。これらを未然に防ぐには密な設計と周到な計画が必要で、これが確立しないと請負業者としても工事に困るしそれが市民に及ぶと思う。今後の事業のあり方の計画はどうか。下水道工事が密集地帯に伸びてくると必然交通問題、駐車場問題、営業被害の問題等が生じてくると考えるがその対策はどうか。

市長 ①PRについては、広報や地区へ向う行っているが、今年に入っても既に二十数回、延年人余りを対象に説明会を開いてきた。問題は、工事の方法、工事の期間、安全対策、

う回路等これらについて理解を求めている。下水道工事はすべての道路を深く掘削し、網の目のように管を敷設するわけではなく、地域住民に迷惑をかけないように安全確保、工事の迅速化などについて業者と連絡を密にし、監督指導している。しかし実際工事の段階では、上水道の仮り移動、既設水路の改修、道路の復旧工事等関連した問題が出てくるので、下水道、都市計画、建設、水道の各課の係長をその委員とするプロジェクトチームで事前に検討し、同時にできる工事はなるべく手で手直ししないような方法で工事を進めている。交通の確保については、出入口等は、仮設道路を設けるとか、危険箇所は覆甲板したり、う回路を設定し看板等で周知している。駐車場については、適当な土地を借上げ臨時駐車場とし、交通の迷惑にならないよう措置する方針である。事業計画の実施については、第一期工事総額七十二億円、十年の歳月を必要とする大事業であり、財源の確保、工事地上等に見合った計画的実施が必要。本年度以降は毎年三ヶ年のローリング計画を立て、他の事業との関連を配慮し、財源の確保に努め、着実に工事が遂行できるようにし、最終目標年度である五十九年度には供用が開始できるように努力していく考えである。

大平議員 ②下水道事業をスムーズに進めるためには、担当課員が少ない。特に課長、係長が業務で重荷ではないか。課長と係長の専任を考慮しているか。市長 ②現時点ではできない。来年度当初で考えていく。

大平議員 ③市広報の問題であるが、広報は市民のために市の政治をわかりやすく、市役所の仕組みを十分理解してもらうためのものでそれが使命だと思われ、市民が広報の内容を果してどの程度理解しているのか。担当者は卒直に考えたことがあるか。広報で年一回地方自治法に基づき財政公表があるが非常にわかりにくい。もっと理解しやすい編纂できないか。内容が詰め込み主義的であると思いませんか。市長 ③広報の意義はお説のとおり、今後十分市民にわかりやすい広報づくりをしていきたいので指導願いたい。詰め込み主義的な面は今後記事の取捨選択に十分意を用いていきたい。

大平議員 ④広報の持つ重要性から、市民の声をリポートして市政に反映させるよう現在の二人から四人にする考えはないか。市長 ④広報を充実する方法はいろいろあると思うが、今直ちに四人にする考えは持っていない。広報の重要性を認識し、その充実に十分役立つ方法を検討していきたい。

生活路線バスの対策

横山議員 ①生活路線バスの問題だが、市内のバス運行系統が十三あり、うち第一種生活路線が八運行、第三種が五運行あるが五十二年度から荒土回りができず、地元では喜んでいる。しかし、現在運行側の経営収支が合わず、この制度は五十年に開始し五十年間限付きである。期限がきた時点で市が国、県分と同額を負担できない場合運行中止となる。このことが、中止となると利用者の生活に影響が出ることは必然であり、過渡期発生にもつながらなければならない。赤字路線の現状と今後の対策を問う。

市長 ①現在十三路線運行しているが、いずれの路線もほとんど赤字である。これは自家用車の発達とバスの時間帯にも問題があると思う。このバス路線は生活に直結した路線であり事業者の一方の考ええ方によって廃止するわけにはいかない。市も国、県に頼って補助金を出しながら生活バス路線の維持に努めている。数年もすれば国庫の補助打ち切りという段階にもなろうかと思うので十分考慮して、現在のバス路線の利用状況を調査し、多額の赤字を出しながら運行してよいものかどうか検討する時期にきている。廃止の方向でなく存続できる方向で解決を見たい。

大平議員 ②赤字路線の状況ですが、五十三年度分はまだ判明しないので昨年九月末現在の状況を報告する。路線は平泉寺線、北谷、白峰線、野向線、大野線、北郷線、運河線、矢口線、このほか運行路線の違う関係から十三路線となっている。大野線と北郷線は現在市からは補助していない。第三種路線は乗車密度が五人未満の路線で、野向線、勝山線、荒坂線、矢口線、

今後にも国と同調していく考えである。現在の転作概況は、里イモ四十八ヘクタール、ソバ三十八ヘクタール、大豆二十八ヘクタール、飼料作物七・八ヘクタール。ほかに馬鈴薯、麦、イチゴ、一般野菜を含めて二百八十八ヘクタールとなっている。政府指定作物であるソバ、大豆、飼料作物、麦さらに地方特産の里イモ、イチゴも市の補助対象にして転作をお願いしている。補助、奨励等については市独自の施策として検討していく。

横山議員 ③特定作物も米に見合った奨励補助金が出せるよう考えてみたい。

市長 ④転作については地域に即した施策が必要ではないか。三百世帯は仕事がない。麦二俵、大豆一俵と収量が少ない市の補助として三千円支給されるが、福井、武生、鯖江では一万円出ている。勝山では一万円以上出ている。勝山ではそれ以上出すべきだ。来年度は倍額にするよう努力すべきだがどうか。

市長 ④米作収入とちまり差が出ないよう補助制度を講じた。県の補助がはつきりしていないが県の出方を見ながら、他市に劣らないようにしたい。

横山議員 ⑤地元高校に対し、教育の全面協力の立場から、行事、植樹、環境問題に助成する必要があると思うが、どのように考えているか。

市長 ⑤高校二校は県立であることから特別の要請がない限り助成していない。これは財政区分の明確化という点からの考えである。現在、高校の敷地代が県から十分支払われないため、市が相当額負担している。また定時制、通信制に対しても面倒を見ていっているので前向きに学校当局と話し合いながら対処したい。

横山議員 ⑥消防団の組織力強化をどうやっていくか。また、防火水槽の設置が急務となり、防火計画にしたがって増設を図っている。一方設置による地元負担も軽減している。ハシゴ車については、丸岡町の例を聞くと、ハシゴ車を完全に活動させるには七人の職員を増員しなければならないこと。また、五年に一回の車検には五百万から六百万円の費用が必要だということ。福井市の場合、昭和二十五年にハシゴ車を導入してから逐次高層用の車を整備しているが、これまでの出場回数は二一三回とのことであり、電線の関係その他いろいろ勘案したい。

横山議員 ⑦消防団の夏服について、現在夏でも非常の際には冬服を着て作業に当たっているが、行動力が低下する。夏服の支給をどのように考えているか。また、消防署の仮眠室は夏でも熱く、仮眠ができないのではないか。早急に改善すべきではないか。

市長 ⑧消防は市民の生命と財産を守る非常に大事な役目をお願いしているわけで、消防団員は先年相当人数を減らした質の強化を図り、消防員も数年ずつと人員をふやしてきて、現在定員三十二人を全部満たした。消防団員の研修については常時消防学校の行う研修会に派遣し、高度な技術や知識を体得させていく。今後も研修は続ける。消防署機 ⑥これまで年度計画を定めて機力の強化、体質の充実を図ってきた。現在消防団員の定員は二百七十五人で他に比較して十分非常の降出動してもらえる人をお願いしている。水の問題は整備によってこれまでの水利計画に大きな変化をきたしている。しかし、簡易水道に消火栓(せん)を設置していただくことをお願いし、現在簡水が三十八ヶ所、上水道が三百個計七百近くとなっている。また、防火水槽の設置が急務となり、防火計画にしたがって増設を図っている。一方設置による

地元負担も軽減している。ハシゴ車については、丸岡町の例を聞くと、ハシゴ車を完全に活動させるには七人の職員を増員しなければならないこと。また、五年に一回の車検には五百万から六百万円の費用が必要だということ。福井市の場合、昭和二十五年にハシゴ車を導入してから逐次高層用の車を整備しているが、これまでの出場回数は二一三回とのことであり、電線の関係その他いろいろ勘案したい。

横山議員 ⑦消防団の夏服について、現在夏でも非常の際には冬服を着て作業に当たっているが、行動力が低下する。夏服の支給をどのように考えているか。また、消防署の仮眠室は夏でも熱く、仮眠ができないのではないか。早急に改善すべきではないか。

市長 ⑧消防は市民の生命と財産を守る非常に大事な役目をお願いしているわけで、消防団員は先年相当人数を減らした質の強化を図り、消防員も数年ずつと人員をふやしてきて、現在定員三十二人を全部満たした。消防団員の研修については常時消防学校の行う研修会に派遣し、高度な技術や知識を体得させていく。今後も研修は続ける。消防署機 ⑥これまで年度計画を定めて機力の強化、体質の充実を図ってきた。現在消防団員の定員は二百七十五人で他に比較して十分非常の降出動してもらえる人をお願いしている。水の問題は整備によってこれまでの水利計画に大きな変化をきたしている。しかし、簡易水道に消火栓(せん)を設置していただくことをお願いし、現在簡水が三十八ヶ所、上水道が三百個計七百近くとなっている。また、防火水槽の設置が急務となり、防火計画にしたがって増設を図っている。一方設置による

地元負担も軽減している。ハシゴ車については、丸岡町の例を聞くと、ハシゴ車を完全に活動させるには七人の職員を増員しなければならないこと。また、五年に一回の車検には五百万から六百万円の費用が必要だということ。福井市の場合、昭和二十五年にハシゴ車を導入してから逐次高層用の車を整備しているが、これまでの出場回数は二一三回とのことであり、電線の関係その他いろいろ勘案したい。

横山議員 ⑦消防団の夏服について、現在夏でも非常の際には冬服を着て作業に当たっているが、行動力が低下する。夏服の支給をどのように考えているか。また、消防署の仮眠室は夏でも熱く、仮眠ができないのではないか。早急に改善すべきではないか。

市長 ⑧消防は市民の生命と財産を守る非常に大事な役目をお願いしているわけで、消防団員は先年相当人数を減らした質の強化を図り、消防員も数年ずつと人員をふやしてきて、現在定員三十二人を全部満たした。消防団員の研修については常時消防学校の行う研修会に派遣し、高度な技術や知識を体得させていく。今後も研修は続ける。消防署機 ⑥これまで年度計画を定めて機力の強化、体質の充実を図ってきた。現在消防団員の定員は二百七十五人で他に比較して十分非常の降出動してもらえる人をお願いしている。水の問題は整備によってこれまでの水利計画に大きな変化をきたしている。しかし、簡易水道に消火栓(せん)を設置していただくことをお願いし、現在簡水が三十八ヶ所、上水道が三百個計七百近くとなっている。また、防火水槽の設置が急務となり、防火計画にしたがって増設を図っている。一方設置による

生活路線バスの対策

横山議員 ①生活路線バスの問題だが、市内のバス運行系統が十三あり、うち第一種生活路線が八運行、第三種が五運行あるが五十二年度から荒土回りができず、地元では喜んでいる。しかし、現在運行側の経営収支が合わず、この制度は五十年に開始し五十年間限付きである。期限がきた時点で市が国、県分と同額を負担できない場合運行中止となる。このことが、中止となると利用者の生活に影響が出ることは必然であり、過渡期発生にもつながらなければならない。赤字路線の現状と今後の対策を問う。

市長 ①現在十三路線運行しているが、いずれの路線もほとんど赤字である。これは自家用車の発達とバスの時間帯にも問題があると思う。このバス路線は生活に直結した路線であり事業者の一方の考ええ方によって廃止するわけにはいかない。市も国、県に頼って補助金を出しながら生活バス路線の維持に努めている。数年もすれば国庫の補助打ち切りという段階にもなろうかと思うので十分考慮して、現在のバス路線の利用状況を調査し、多額の赤字を出しながら運行してよいものかどうか検討する時期にきている。廃止の方向でなく存続できる方向で解決を見たい。

大平議員 ②赤字路線の状況ですが、五十三年度分はまだ判明しないので昨年九月末現在の状況を報告する。路線は平泉寺線、北谷、白峰線、野向線、大野線、北郷線、運河線、矢口線、このほか運行路線の違う関係から十三路線となっている。大野線と北郷線は現在市からは補助していない。第三種路線は乗車密度が五人未満の路線で、野向線、勝山線、荒坂線、矢口線、

今後にも国と同調していく考えである。現在の転作概況は、里イモ四十八ヘクタール、ソバ三十八ヘクタール、大豆二十八ヘクタール、飼料作物七・八ヘクタール。ほかに馬鈴薯、麦、イチゴ、一般野菜を含めて二百八十八ヘクタールとなっている。政府指定作物であるソバ、大豆、飼料作物、麦さらに地方特産の里イモ、イチゴも市の補助対象にして転作をお願いしている。補助、奨励等については市独自の施策として検討していく。

横山議員 ③特定作物も米に見合った奨励補助金が出せるよう考えてみたい。

市長 ④転作については地域に即した施策が必要ではないか。三百世帯は仕事がない。麦二俵、大豆一俵と収量が少ない市の補助として三千円支給されるが、福井、武生、鯖江では一万円出ている。勝山では一万円以上出ている。勝山ではそれ以上出すべきだ。来年度は倍額にするよう努力すべきだがどうか。

市長 ④米作収入とちまり差が出ないよう補助制度を講じた。県の補助がはつきりしていないが県の出方を見ながら、他市に劣らないようにしたい。

横山議員 ⑤地元高校に対し、教育の全面協力の立場から、行事、植樹、環境問題に助成する必要があると思うが、どのように考えているか。

市長 ⑤高校二校は県立であることから特別の要請がない限り助成していない。これは財政区分の明確化という点からの考えである。現在、高校の敷地代が県から十分支払われないため、市が相当額負担している。また定時制、通信制に対しても面倒を見ていっているので前向きに学校当局と話し合いながら対処したい。

横山議員 ⑥消防団の組織力強化をどうやっていくか。また、防火水槽の設置が急務となり、防火計画にしたがって増設を図っている。一方設置による

地元負担も軽減している。ハシゴ車については、丸岡町の例を聞くと、ハシゴ車を完全に活動させるには七人の職員を増員しなければならないこと。また、五年に一回の車検には五百万から六百万円の費用が必要だということ。福井市の場合、昭和二十五年にハシゴ車を導入してから逐次高層用の車を整備しているが、これまでの出場回数は二一三回とのことであり、電線の関係その他いろいろ勘案したい。

横山議員 ⑦消防団の夏服について、現在夏でも非常の際には冬服を着て作業に当たっているが、行動力が低下する。夏服の支給をどのように考えているか。また、消防署の仮眠室は夏でも熱く、仮眠ができないのではないか。早急に改善すべきではないか。

市長 ⑧消防は市民の生命と財産を守る非常に大事な役目をお願いしているわけで、消防団員は先年相当人数を減らした質の強化を図り、消防員も数年ずつと人員をふやしてきて、現在定員三十二人を全部満たした。消防団員の研修については常時消防学校の行う研修会に派遣し、高度な技術や知識を体得させていく。今後も研修は続ける。消防署機 ⑥これまで年度計画を定めて機力の強化、体質の充実を図ってきた。現在消防団員の定員は二百七十五人で他に比較して十分非常の降出動してもらえる人をお願いしている。水の問題は整備によってこれまでの水利計画に大きな変化をきたしている。しかし、簡易水道に消火栓(せん)を設置していただくことをお願いし、現在簡水が三十八ヶ所、上水道が三百個計七百近くとなっている。また、防火水槽の設置が急務となり、防火計画にしたがって増設を図っている。一方設置による

地元負担も軽減している。ハシゴ車については、丸岡町の例を聞くと、ハシゴ車を完全に活動させるには七人の職員を増員しなければならないこと。また、五年に一回の車検には五百万から六百万円の費用が必要だということ。福井市の場合、昭和二十五年にハシゴ車を導入してから逐次高層用の車を整備しているが、これまでの出場回数は二一三回とのことであり、電線の関係その他いろいろ勘案したい。

横山議員 ⑦消防団の夏服について、現在夏でも非常の際には冬服を着て作業に当たっているが、行動力が低下する。夏服の支給をどのように考えているか。また、消防署の仮眠室は夏でも熱く、仮眠ができないのではないか。早急に改善すべきではないか。

市長 ⑧消防は市民の生命と財産を守る非常に大事な役目をお願いしているわけで、消防団員は先年相当人数を減らした質の強化を図り、消防員も数年ずつと人員をふやしてきて、現在定員三十二人を全部満たした。消防団員の研修については常時消防学校の行う研修会に派遣し、高度な技術や知識を体得させていく。今後も研修は続ける。消防署機 ⑥これまで年度計画を定めて機力の強化、体質の充実を図ってきた。現在消防団員の定員は二百七十五人で他に比較して十分非常の降出動してもらえる人をお願いしている。水の問題は整備によってこれまでの水利計画に大きな変化をきたしている。しかし、簡易水道に消火栓(せん)を設置していただくことをお願いし、現在簡水が三十八ヶ所、上水道が三百個計七百近くとなっている。また、防火水槽の設置が急務となり、防火計画にしたがって増設を図っている。一方設置による

地元負担も軽減している。ハシゴ車については、丸岡町の例を聞くと、ハシゴ車を完全に活動させるには七人の職員を増員しなければならないこと。また、五年に一回の車検には五百万から六百万円の費用が必要だということ。福井市の場合、昭和二十五年にハシゴ車を導入してから逐次高層用の車を整備しているが、これまでの出場回数は二一三回とのことであり、電線の関係その他いろいろ勘案したい。

横山議員 ⑦消防団の夏服について、現在夏でも非常の際には冬服を着て作業に当たっているが、行動力が低下する。夏服の支給をどのように考えているか。また、消防署の仮眠室は夏でも熱く、仮眠ができないのではないか。早急に改善すべきではないか。

消防署長⑦条例により制服を制定している。四十八年から四十九年にかけて全員に新調。雨衣等を五十一年から五十二年に支給し整備した。夏服については目下検討中である。仮眠室は西側にあるが勝山の場合まだ窓まわりの網が壊れている。しかし、夏の間は子熱が長く残り困っている。三年前に換気扇を二台取り付けた。仮眠に会議室等も利用している。改修については管理係とよく相談したい。

横山議員⑧現在、団員に対しての費用弁償は千円である。まことに安い。基準賃金は五千円であるから、大体半日千五百円ぐらいは支給すべきだと考えるがどうか。

市長⑨各種委員会の委員の費用弁償等を二年に一回見直すことになっている。五十四年度は改訂の時期であるので、よく調査して他市並みに考えていきたい

過疎対策と将来計画はどうか

藤田議員①過疎対策と将来計画についてであるが、市の人口は市制発足当時約三万八千人、ことし四月現在では三万一千五百人と減少し減少率一七%、約七千人近い減り方である。人口は市勢を示すものであり、市の将来に不安を感じる。低成長経済時代への移行と市の道路網の整備、公共施設の充実、生活環境の改善等の施策により、減少率はここ数年鈍化していることは一つの成果である。そこで平均的生活が維持できる所得を得ることができないのはこの問題解決にはならない。過疎現象をどのように考え、問題解決のカギである産業問題をどうとらえているか。また、総合振興計画基本構想の大きなスレをどうするのか問う。

市長②人口の減少原因は、将来性をもつて働く職場がないことと男子向きの職場がないこと

だと思ふ。工場誘致に努力して来たが立地条件が悪い。現在でも軽工業等だけで男子向きの間い合わせがない。企業の誘致に努力すると同時に、基幹産業の維持産業を守るため利子補給制度などとしていきたい。また基本計画の見直しは来年度作業にかかりたい。

藤田議員②これまでの工場誘致についての経過と問題点、また、聞くところによると千人ぐらゐ雇用するという企業が進出したという話が、なぜ進出にならなかったのか。

商工観光課長②五十年以降五件あり、うち一件進出、ただ閉鎖した。進出不調三件。進出保留一件となっている。業種は縫製業、織物業、その他である。問題は立地、気象条件、労働力確保の問題がある。今後さらに努力していく。

市長③大型企業の進出の話があり、用地のあつせんをしたが坪三千坪であつたので大野市と競り合ひ大野市へ進出することになった。しかし、結局経済情勢の悪化から進出を取り止めた土地の先行取得も考えも、誘致できない場合は市政のマイナスになる。工場誘致には立地条件が大切でその点よく考慮しながら検討していく。

藤田議員③本市は水と緑のまちといわれ、森林高原に恵まれ美しい自然環境を誇っている。今奥越大森林公園の建設や林業構造改善事業の名のもとに、これから開発されていくが、美しい自然環境をどのように保つていくのか。

市長④勝山の将来は繊維産業と総面積の八〇%を占める山林の開発である。東山地区は総合森林利用計画に基づいて事業を原にも依頼して進めている。山の開発は環境保全の調和を保つことが大切である。十分意を用いていく。

藤田議員④山の開発に当たって文化的歴史の価値ある文化財

が破壊されないよう調査し、保護すべきと考えるがどう対処していくのか。

市長④埋蔵文化財等が発見されたときは十分保護の措置を講じていきたい。

教育長④市教委としては開発されていく所について、各関係機関と話し合つて十分対処する

藤田議員⑤平家の落人村といわれる小原地区の文化財の価値はどうか。

教育長⑤深く研究していないので分らないが、無形、埋蔵文化財があるかも知れない。県の調査では中に入っていない。

市長⑤市の文化財でなくても価値あるものは保護したい。

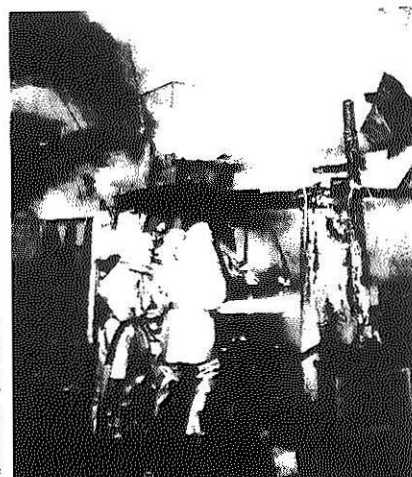
藤田議員⑥堤防の清掃についてであるが、本来この堤防は防災のため築造され県の管理に

なつていて、一方市の玄関口としてのシンボリックな名所でもある。今の堤防の下にグラウンドや緑地帯が造成されているが、これらとマッチするよう堤防の清掃管理に意を払うべきではないか。現在まで地域住民の自主的奉仕活動のみにかまされており、市、県とも予算措置がなく住民の要請にに応じられない状況である。ただ、河川愛護を呼びかけるだけでなく、行政も何らかの措置を講ずべきではないか考えを問う。

市長⑥堤防は県の管理であるが、清掃については市も積極的にやつていきたい。市内には公園など公共施設が多い。市が全部やるということも困難である。やはり地域のみならずの協力を得なければならぬ。どうしても無理な所は市がやるといふ考えである。予算についてはできるだけ措置したいと思つている

藤田議員⑦ゆりかごから墓場まで生がいにわたる、生活全般にわたつて幅広い行政サービスの行うことが地方自治体の任務であると思ふ。市営火葬場の従業員に服装はいささか会葬者に不快な感じを与えてはいないかこの際従業員の制服化を検討する意思はないか。

市長⑦市営火葬場の運営は民間に委託しており、従業員も民間雇用である。不快な感じを与えてはいけないので、委託業者と話し十分改善していきたい。



こんな悲しいことにならないように

11月26日～12月2日秋の火災予防運動

それぞれの持ち場で生かせ火の用心

人は、いつも安全なところに寝てはいけないので、委託業者と話し十分改善していきたい。



寝タバコ防止

毎年、火災の原因のトップはタバコの不始末です。小さな火がちよつとした不注意で大きな火災となります。

いよいよ、火災の起きやすい季節を迎えます。各家庭では火の取り扱う機会が多くなり、ちよつとした心のスキから火事が発生しています。お互いによく注意して町ぐるみで火事をなくしたいものです。この十一月二十六日から十二月二日まで秋の火災予防運動が実施されます。火災を防ぐには、一人ひとりが火の尊厳、忘れたけた火の恐ろしさ、火災の多発が予想されま

ましよう。

暖房器具の安全点検と正しい使い方

これから、どの家庭や工場などでも暖房器具を使う季節になります。冬は暖房器具の使用により、火災の多発が予想されま

日ごろからヒナンを考えよう

ことしの一月八日未明、福井市で店舗兼住宅など三棟が全半焼し、二階で寝ていた母親と子ども二人を含む四人が焼死しました。

お出かけ、おやすみ前

お出かけ前、おやすみ前には必ず安全点検を行います。そして家族みんなで火の元点検の習慣をつけましょう。

地域ぐるみ、町ぐるみ

火災予防には休日ではありません。ちよつとした不注意から火事はいつどこで発生するかわかりません。地域ぐるみ、町ぐるみでお互いに協力しあつて火事のない明るい町づくりを進めま



荒土小BFC鼓笛隊の演奏

大人の防火意識低い

BFC研究発表で鋭く批判

勝山市少年消防クラブ(下牧三郎幹事長、百六十五人)は十月十七日市民会館で、第十二回勝山市少年消防クラブ研究発表会を開き、市内各小・中学校から十三班約百五十人が参加、日ごろの研究発表を披露しました。審査の結果、野向小と中部中

発表会は、下牧幹事長、斎藤教育長のあいさつとあつた。北部中

の班も身近な問題に取り組み、よくほり下げて研究しており、とくに大人の防火意識の低さの指摘が多く、プロパンガスの便利さに慣れ、正しい使い方を理解していないなどと鋭く批判していました。なかでユニークだったのは北谷小の「こげのてんまつ」で、よく実験を重ねた発表でした。

休憩時間には、ことし四月日本消防協会から贈られた楽器で練習を積んできた荒土小の鼓笛隊の演奏が市役所前広場で披露し、市民やクラブ員から盛んな拍手を浴びました。審査は各校の指導担当の先生方が当たり野向小の「野向町のプロパンガスについて」と中部中

防火点検と実態調査について」二研究が果大会出場権を獲得しました。

12月1日から交通法が変わります

"酒酔い"は免許取り消し



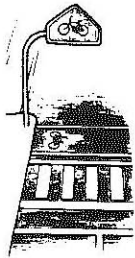
道路交通法が、七年ぶりに大幅改正され、十二月一日から施行されます。今回の改正は二、三人に一人が運転免許を持つ「国民皆免許時代」を迎えて、クルマ社会の新しい秩序づくりをめざすものです。

主な改正内容は次のとおりです。

自転車の通行安全

横断帯が新設されます

自転車横断帯の交通事故を減らすため、新しく自転車専用横断帯が設けられます。幅一・五メートルの横断帯には、自転車の図柄入りの標識や標識がつけますが、横断歩道に併設される場所では歩行者用の信号と共通になります。



車は横断帯の手前ではスピードを落とし、自転車横断帯は必ず一時停止をしなければなりません。また、横断帯の手前三十メートル以内の追い越し、追い抜きは禁止となります。

交差点への進入が一部禁止されます

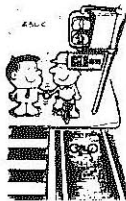
交通のほけしい交差点などでは、自転車横断帯を横断するのはとても危険です。とくに、大型トラックなどに巻き込まれる事故が年々ふえています。

このような事故を防ぐために交通量の多い交差点には、新たに「自転車進入禁止」の道路標識がつけられます。「自転車進入禁止」の標識のある交差点では、自転車をいったん歩道の上にあげ、自転車横断帯を利用して交差点を渡らなければなりません。

歩行者用信号にしたがつて通行

自転車は「歩行者・自転車専用」という標識がある場合、歩行者専用信号の指示にしたがつて通行します。

現在、信号機は、車と歩行者用の二種類で、これまで自転車は車の信号機にしたがつて走って来た。しかし車といっしょに走って走るのが危険な場所や交差点がふえてきました。このため新たに「歩行者・自転車専用」の標識がついた歩行者用信号が設けられることになりました。標識の文字は白地に青色で書かれています。

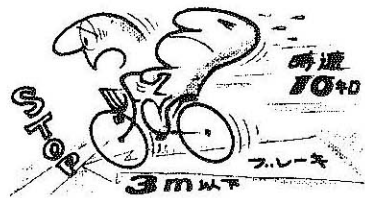


ブレーキの整備不良は処罰されます

このような信号機のあるところでは、歩行者と自転車は同じ信号機にしたがつて通行します。信号無視は懲役三ヶ月以下罰金三万円以下です。

自転車の安全基準が決まりました。これまで自転車には、車の車検のようなものはなく、安全基準は野蠻なものでした。そこで今回「これだけは、安全運転に必要」という、安全のための最低線が決められました。ブレーキです。ブレーキが不良で思うように止まれない自転車は、危険なものではありません。

りません。時速十、二十の速度で、三メートル以内で停止できるブレーキが基準とされ、ブレーキ不良の自転車に乗っていると、三万円以下の罰金です。

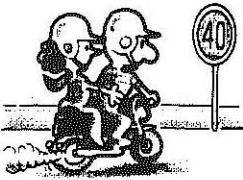


また、夜間は尾灯が反射器材をつけなければなりません。しかも白と後方から確認できるものでなければ失格です。色は赤色、またはダイダイ色で後方から見るところであれば大ききやそれをつける場所はどこでもかまいません。

自動二輪、原付き自転車

ヘルメットの着用が義務づけられました

自動二輪車、原動機付き自転車の乗車用ヘルメットの着用が義務づけられました。



自動二輪車に乗る時は、運転する人も、荷台に乗る人も必ずヘルメットをかぶらなければなりません。今までは、最高速度四十、未滿の道路ならヘルメットは不用でしたが、これからはヘルメットなしでは乗れま

せん。四十、五十で走れる道路をヘルメットなしで運転すると違反点二点です。

また、高速自動車国道や自動車専用道路では、二人乗りしてはいけません。罰則は、いずれも三万円以下の罰金です。

原動機付き自転車に乗るときもヘルメットをかぶらなければなりません。原動機付き自転車に乗って買い物に出かけるお母さんたちも必ずヘルメットをかぶって運転しましょう。

暴走行為の禁止

シグザグ運転・横列運転は懲役六カ月

暴走族に対する取り締まりが一段と強化されました。

これまでは、自動二輪車が道路を横切らばい広がって走っても、センターラインを超えた場合は検挙できたものの、左側通行車線内では取り締まることできませんでした。

これが十二月一日からは、二台以上の自動二輪車や車を横に連ねて運転したり、道路いっばいに広がってのシグザグ運転、走っている車を包囲してのいやがらせ——など、共同して交通を妨害したり、他人に迷惑をかける行為をした場合は、全部の車を取り締まりの対象になります。罰則も厳しく懲役六カ月以下、罰金五万円以下、違反点九点で無免許運転よりも重い行政処分を受けます。

高速自動車道

燃料切れや積荷の転落も処罰

高速自動車道での事故や渋滞の原因は、燃料やオイル切れによる本線車道へのエンコ、あるいは積荷の転落事故によるもの

がほとんどです。要は運転者のマナーの問題なのです。

高速自動車道を走る時は、運転者は前もって、次の事項を子エツクしていただき、ガソリンの状態、冷却水やオイルの量の点検。

走行中にガソリンやオイルが切れて、本線車道に停車すると処罰されます。路肩に止まるのはかまいません。

積荷の状態の点検

走行中に積荷を落としたり、故意に物を投げ捨てたりすると処罰の対象になります。罰則はそれぞれ懲役三カ月以下、罰金三万円以下、違反点は二点。

行政処分

無車検、無保険も違反点

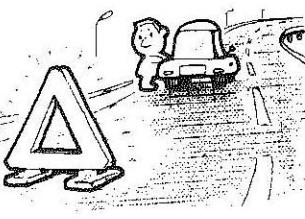
いままでは道路交通法違反に問われるのみで、行政処分を受けなかった次のような違反も今は処分の対象になりました。

無車検、無保険(強制保険)はいずれも違反点六、車庫代りに道路を使用した、青空駐車は二点、夜間の八時間以上の路上駐車一点。

優良ドライバーに特典

厳しい取り締まりばかりが決して能てはないというわけですから、優秀な運転者には二回うけあえ、一層安全運転に心がけてもらおうというねらい。

二年間、無事故、無違反の運転者が、スピード違反や信号無視など違反点二点までの軽い違反を犯し、その後三カ月間無事故、無違反だった場合はこの点数は違反点数からはずされます。いままでの、消却期間は一年でしたが四分之三に大幅短縮されたわけですね。



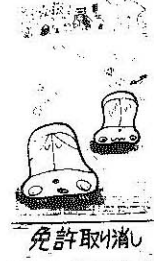
表示器は一面が五十以上の三角形、後方二百から視認できるように立てる。夜間は反射器材を使用したものを用意してください。罰則は、三万円以下の罰金、違反点は一点。

運転免許制度

麻薬や覚せい剤を飲んだの運転と酒酔い運転は厳罰で、一度



の違反で免許は取り消されます。麻薬、覚せい剤運転は、これまで過労運転並みの比較的軽い処分(違反点六)でした。しかし、重大事故につながる危険性が強いうえ、麻薬、覚せい剤の常用による中毒症を防ぐ意味も含めての厳罰(二十五点)です。酒酔い運転は従来、十二点でしたがこの改正で十五点に引き上げられました。ですから、酒を飲むなら乗るなを肝に銘じ安全運転に徹しましょう。



料理実習のあしらせ

大衆魚を使つての料理実習のあしらせ

県と市が共催で二百カ所に強くなるための「料理実演と試食会」を開催します。

円高・ドル安がさすれば二百カ所漁業問題がうすれていますが、台所をあずかる主婦にとつて、魚はなくてはならない副食です。これからの食生活を考へて、大衆魚の「使い方」を習得していただくため、主婦を対象に一流講師を招いて実演をしていただきます。

お正月も間近ですので、大衆魚を使った正月料理もあわせて作ります。ぜひこの機会に左記の要領でお申し込みください。

日時 十一月二十八日(火)午後一時三十分～三時半

場所 市民会館 料理実習室
人数 四十人(定員になり次第締め切ります)
対象 毎日料理をされる主婦(受講料 百円(筆記用具持参))
講師 福井クッキングスクール校長 天谷祥子先生
申込先 市総務課広報係
電話(8)一一一一(内線二二五)

北郷が逆転優勝飾る

駅伝15年ぶり10地区出場

第二十四回勝山市内駅伝競争大会は九月二十四日正午から市内三十五、十二区間のコースで行われました。

十五年ぶりに参加した北谷地区など十地区から約二百人の選手が参加。十二時ジャストに市役所前をスタート。遅羽、平泉寺、村岡、野向、荒土、北郷、鹿谷の各地区を走りました。各チームとも激しいレース展開となりましたが、第十区間で二位に上がった北郷チームが、最終区間でスタートからトップに立っていた勝山チームと競り合い、四十秒の差をつけ逆転優勝。昨年に続いて二連勝を飾りました。また三位入賞の村岡チームに

は親子で出場した選手もあり、沿道の市民から盛んな拍手を浴びていました。成績は次のとおりです。

①北郷(笠川、石川、川村、竹内、竹島、前沢、津田、鈴木、島田、木下、高野、大谷) 2時間6分②勝山2時間6分40秒③村岡2時間7分7秒

区間一位▽一区 上田秋光(勝山) 10分20秒▽二区 松村光庸(同) 7分55秒▽大会タイ▽三区 川村善勝(北郷) 9分29秒▽大会新▽四区 長田三代松(村岡) 7分3秒▽五区 前川重雄(勝山) 7分28秒▽六区 高田賢尉(野向) 6分54秒▽七区 市原勝(平泉寺) 12分2秒▽八区 鎌田将睦(村岡) 13分1秒▽九区 島田一博(北郷) 5分46秒▽十区 木下謙一(北郷) 11分39秒▽十一区 高野俊和(同) 12分37秒▽十二区 大谷与栄(同) 17分11秒



15年ぶり全地区参加の24回駅伝競争大会のスタート＝市役所前

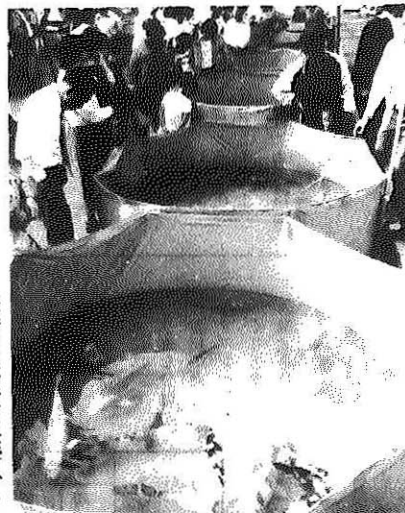
自慢の紅白にうっとり

宮本さんが優勝

勝山でニシキゴイ品評会開く

全日本愛媛会福井県支部主催の第六回ニシキゴイ品評会が十月八日午前九時から中央公園で開かれました。噴水と芝生が美しい会場には県支部の会員百十人が飼育している見事なニシキゴイ約五百匹が展示され、訪れた市民の目を惹きつけました。

開会式の後、郷土芸能「左義長ばやし」が勇壮に打ち出す太鼓は大会を一層盛り上げました。審査には全日本愛媛会の岸浅彦近畿地区長ら中部、近畿各府県の代表十人が当たり、全体総合



見事なニシキゴイにうっとりする市民＝中央公園で

「リレー対談」を見よう

毎週土曜朝福井テレビで自治省では、五十三年度の選挙時啓発事業の一環として、テレビ番組「リレー対談」を送っています。出演者は次のとおりですが、出演者がリレー方式で対談します。

放送は十二月まで毎週土曜日午前八時四十五分から九時までの十五分間。放送局は福井テレビ。この番組は有権者の政治意識の向上が主眼です。朝のひとときを、リレー対談で。

〈対談出演者〉

▽十一月四日 桂米朝 中島梓
▽十一月十一日 中島梓 三好京三
▽十一月十八日 三好京三 佐藤陽子
▽十一月二十五日 佐藤陽子 加山雄三
▽十一月二十二日 加山雄三 糸川英夫
▽十一月二十九日 糸川英夫 森英恵
▽十二月十六日 森英恵 江崎玲奈
▽十二月二十三日 江崎玲奈 長島茂雄
▽十二月三十日 長島茂雄 竹下景子

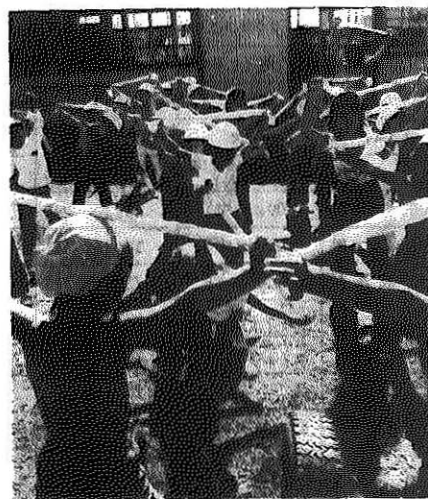
寒さなんか吹っ飛ばせ

成器西幼稚園 元気に乾布摩擦

一足早い寒さの訪れた奥越地方は一段と冷え込みがきついこのころですが、成器西幼稚園(島田千代園長、九十四人)の園児らは、早くも乾布摩擦を始めました。

午前十時半になると上半身裸になって園舎から飛び出し、音楽に合わせてフォークダンスをしたり、駆けっこや思い切り飛び上ったりして体をほぐした後、タオルを使って乾布摩擦に励みます。当番の子の「イチ、ニイチ、ニイ」の大きな掛け声に合わせて、肩から胸、手と十分間近くも続けます。

またたくうちに上半身が真っ赤になり、顔に汗がにじんでき



「イチニイ イチニイ」と掛け声も元気よく乾布摩擦＝成器西幼稚園で

民芸の仲間195号

福井県芸術劇場勝山公演



作/E・D・フィリップ 演出/渡辺浩子

おい、わが町

ナポリ百万長者/

●出演者 里居正美・奈良岡朋子・真野響子・三浦威・山吉克昌
岩下浩・水谷貞雄・高橋征郎・小野田巧ほか

12月9日(土) 午後5時開場 6時15分開演
勝山市民会館大ホール

入場料 一般 ¥1,800(当日¥2,000)
学生(高校生) ¥1,000(当日¥1,200)

●送賞券は、市教委社会教育課(市民会館内)又は市内各地区公民館にあります。

主催 福井県教育委員会・勝山市・勝山市教育委員会・勝山市文化協議会
後援 勝山ロータリークラブ・勝山ライオンズクラブ・勝山地区老人会連合会・勝山青年会議所・勝山市婦人団体連絡協議会・勝山市青年団体連絡会

市営テニス場

完成間近か

工業再配置促進費補助金(通商産業省所管)を受けて建設されている市営テニスコート(クレイ型コート四面)は、工事の八割が完成、全面完成も間近かです。このテニスコートができれば、社会体育施設がまた一つできるわけで、テニス人口が増えることでしょう。

タバコは

市内で

ますが園児らは元気いっぱいです。この乾布摩擦は六年前から始っていますが、効果は上々で、冬寒間に風邪で休む子もなく、お父さんやお母さん方から大変好評を得ています。

「ことは寒さがきびしくなりそうだから、今からうんと鍛えなくては」と島田園長も張り切っています。

社会福祉のためにと川上さん30万円預託

この程社会福祉のために使ってほしいと三十万円を善意銀行に預託された方があります。

この人は栄町三丁目川上善右衛門さん(心無職で米寿を記念して預託されたものです。ありがとうございました。

現代版画の巨匠たち

—日本の版画界を代表する6人展—

- 池田満寿夫 長谷川 潔
- 浜口陽三 菅井 汲
- 浜田知明 駒井哲郎

入 場 無 料

場所 教育福祉会館展示ホール

日時 11月10日(金) 6:00PM~9:00PM
 11日(土) 1:00PM~9:00PM
 12日(日) 12:00~6:00PM

主催 勝山青年会議所・アートフル勝山の会
 後援 勝山美術クラブ

11月30日午後2時から 荒土・鹿谷地区の電話番号が変わります



勝山北西部の電話事情改善のため、荒土町伊波地籍に建設していましたが荒土電話交換局が完成し、いよいよ来る十一月三十日午後二時から隣接する北郷電話交換局を統合のうえ、「九局」としてサービス開始します。また、同時に多数共同の鹿谷地集電話も一般電話に変更になります。そのため、両地区で現在ご使用の「七局」「八局」の電話は「九局」に取替えになります。電話番号が変わりますので臨時電話帳または一〇四でお確かめのうえ、おかけください。

市内局番 加入者番号
 九局 — ××××

北郷地区の電話番号は変わりません(公衆電話を除く)が、当日午後二時前後約十分間、切り替え作業のため迷惑をおかけしますので、この間の通話はなるべくさけてください。

臨時電話帳(九局)ご入用の方は窓口へお申し出ください。市関係の番号変更は次のとおりです。

荒土公民館 九二二一七

勝高創立30周年記念公演

森山良子 コンサート



★場所 市民会館大ホール

★日時 11月11日(土) 6:00PM開場

★入場料 1,000円



の風聞がありますが、公庫の申し込み手続きには手数料は不要です。ご注意ください。

くわしいことは公庫支店の窓口①番申込相談係、または勝山商工会議所におたずねください。

別表 (単位 KHZ)

放送所名	第1放送		第2放送		主な対象地域
	現	新	現	新	
勝山ラジオ	1160	1584	1360	1359	勝山市、大野市

9月市消費生活モニター生活関連物資小売価格調査結果表

調査品目	平均	市平均	県平均	対前年同月市平均
砂糖	上白糖(1kg)	256	237	228
化学調味料	味の素(120g)	246	—	250
小麦粉	薄力(1kg)	158	—	161
みそ	中級品(1kg入)	293	296	277
天ぷら油	(1,650g)	524	578	576
サラダ油	(1.8ℓ)	546	—	630
しょうゆ	キッコウマン(2ℓ)	440	442	459
	その他(1.8ℓ)	408	—	439
バター	雪印(225g)	351	346	316
マヨネーズ	300g	196	—	—
鶏卵	Mサイズ(10コ入)	181	195	228
牛肉	100g(中)	261	296	—
豚肉	100g(中)	164	181	—
合成洗剤	(2,650g)	721	718	708
歯みがき	ホワイトアンドホワイト(190g)	232	—	228
	エチケットライオン(220g)	259	—	226
ちり紙	白(700枚)	201	—	228
トイレットペーパー	4コ入(55m)	149	144	132
白灯油	店頭渡し(18ℓ)	694	688	720
	配達(18ℓ)	714	698	753
プロパンガス	5㎡	1,710	1,696	—

国民金融公庫

年末資金の申込みは早目に

国民金融公庫福井支店は、開店一周年を迎えより一層地域に密着した「親しまれる信頼される公庫」をモットーに中小企業のみならずの発展に努力しています。ことしは年末を控え、商品仕入れ、買掛金や手形の決済ボーナスの支払いなど年末資金の必要な時期となりました。例年これから申し込みが集中しますので、遅くとも十一月二十日ごろまでに申し込まれるようおすすめします。融資の条件は次のとおり、融資限度の引き上げや利率の引き下げなど、より利用しやすくなりましたのでお知らせいたします。

▼普通貸付(一般口)

融資の対象 ほとんどの業種
 融資限度 千二百万円
 年利率 七・一％
 資金の用途 運転資金(長期短期)および設備資金
 返済方法 割賦払いまたは一時払い

▼省力化貸付

融資の対象 製造業を営む方
 融資限度 千八百万円
 年利率 七・一％
 資金の用途 省力化の設備資金

ほかに経営改善貸付および近代化促進貸付、市街地貸付、流通貸付、公害貸付など特別貸付も用意しています。

現在利用中の借入残高がおおむね当初借入額の半額以下になった場合、借替えもできます。
 (注意) 最近、公庫への申し込みをあたせんすと称して高額の手数料などをとっている者がいると

NHKだより

ラジオ第1・FM放送番組改定

NHKでは、音声放送により親しんでいたため、ラジオ第一放送とFM放送の番組を、十一月二十三日(木)から大幅に改定します。

今回の改定では、音声放送の聴取態様を重視し、両波とも一定の時刻になると同種の番組が毎日きけるとい

う番組編成に努め、(1)ラジオ第一放送は、週日の昼間は、いわゆる「ながら聴取」夜間ほどちらかるといふ目的をもった「専念聴取」という聴取態様に対応して、編成全般にわたっての刷新充実

(2)FM放送は週日の夜間を中心に大幅に改定し、聴取しやすい時間帯でのクラシック音楽番組と若者向けの番組の拡充、強化

(3)両波とも、週末には、さまざまな分野の番組の熱心なファンがじっくりと楽しめる充実した番組の編成を行っています。

繰り上げ支給の年金額

受給時の年齢	65歳で受ける年金額に対する減額率	%
60歳以上 61才未満	42	
61 " 62 "	35	
62 " 63 "	28	
63 " 64 "	20	
64 " 65 "	11	

繰り下げ支給の年金額

受給時の年齢	65歳で受ける年金額に対する増額率	%
66歳以上 67歳未満	12	
67 " 68 "	26	
68 " 69 "	43	
69 " 70 "	64	
70歳で受ける場合	88	

年金だより

十一月は「国民年金普及推進月間」です。忘れていた保険料が、今日からは年金の繰り上げ、繰り下げ支給についてお知らせします。

国民年金の老齢年金は、六十五歳から支給されることはご存じのとおりですが、六十歳までに老齢年金の資格要件を満たしている人は、六十歳からでも希望により支給開始時期を繰り上げて支給されます。しかし、年金額は次の表のとおり減額されますのでご注意ください。

これは反対に、長生きできるといふ自信のある方が六十五歳以上七十歳までの間で繰り下げて支給を望んだ場合は、年齢に応じたのとおり増額されます。

「善恵活動」

タオルや石けん 集める

この十月から、温交会勝山地区(川崎真五郎代表)は、各家庭を訪問して、タオルや石けんを集めています。この善恵活動は毎年実施しているもので、集まったタオルや石けんは勝山市民が入所している県内および石川県の老人・身障者等の施設へ施すため、日用品としてタオルや石けんは欠かせないだけに、

不用品交換

ニワトリ飼育カゴ(八十羽分) サークューレーター、50ccバイク(二件) 子ども用三輪車、ベビーベッド、応接四点セット(レザー張り) 煉炭火鉢(セット) 蓄熱式暖房器(東芝) ワイヤレスレコードプレーヤー ブラザーミシン(足踏み式)

届けて下さい

ベビーカー、50ccバイク(スパーカー) 扇風機、いす、ジグザグマシン、ピアノ(二件) 女性用バイク、ラジオ、二段ベッ、子ども用学習機または大人用机、婦人用自転車(三件) 野外用三脚、掃除機、小型鏡台 瞬間湯沸器(小型) オルガン、Wベッ

勝山市民社会福祉協議会